

◆地球温暖化対策結果報告書 受付審査チェックシート（産業部門）

事業所ID

事業所名称

事業者名称

No1
平成22年 月 日

審査済印
(記入不要)

ア 結果報告書に添付する書類等の確認

窓口No:

No.	書類名	確認項目	確認結果		備考
I	電子データ	書面に加え、地球温暖化対策結果報告書のE X C E Lファイルの提出が必要です。 (軽微な修正等あれば、受付窓口で修正することができます。)	☐ 必須	☐ 提出 ☐ 未提出	電子データがない場合、軽微な修正でも再提出が必要になります。
II	点検表	■点検表 31～41 ■点検表別表 A・A01・A02・B01～08 事業所に該当する点検シートについて、必ず提出が必要です。	☐ 必須	☐ 提出 ☐ 後日提出予定	
III	削減量の根拠資料	次の場合は根拠資料の添付が必要です。 (その8) ●目標対策の対策内容に変更があり、削減効果見込量が計画時から増減する場合 ●目標対策に係る推計実績削減量を計上する場合	☐ 該当 ☐ 非該当	☐ 提出 ☐ 後日提出予定	削減量の根拠資料がない場合、評価の対象になりませんのでご注意ください。 基本対策を「取りやめ」とする場合は、さらに、その見込量の妥当性を示す資料の提出が必要となる場合があります。
		完了した目標対策に係る削減量の根拠資料は、これまでにご提出いただいた排出状況報告書等に添付した資料で代替することができます。	《重要》 代替できるのは、削減量の算出に当たって「推計実績削減量計算書の算出条件・推計の考え方」を満足している場合に限ります。	☐ 代替する	
IV	テナント事業者等における削減対策に係る資料	同一敷地内における関連事業者で、対象事業所の要件を満たす事業者がある場合は、当該事業者における結果報告書の添付が必要です。	☐ 該当 ☐ 非該当	☐ 提出 ☐ 後日提出予定	(その1)のテナント事業者の結果報告書を提出してください。
V	その他・基本対策の実施を示す資料	計画書に計上した運用対策及び設備導入等対策に関して、実施または完了を示す資料の添付が必要です。 管理標準、計測記録、設定表、写真、しゅん工図書(抜粋)、など	☐ 必須	☐ 提出 ☐ 後日提出予定	
VI	その他・協議資料	次の場合は理由書の添付が必要です。 (その8) ●基本対策を「延期」または「取りやめ」する場合 ●基本対策の内容を変更する場合	☐ 該当 ☐ 非該当	☐ 提出 ☐ 後日提出予定	計画した基本対策を「取りやめ」とした場合には、「B」以下の評価となる可能性があります。
VII	その他	その他の必要な書類名()		☐ 提出 ☐ 後日提出予定	

※ 「後日提出予定」の場合、右側の四角い枠内に提出予定日を記入してください。結果報告書の窓口提出後、1週間程度を目安に提出してください。

イ 結果報告書提出書、結果報告書、結果報告書添付書類の審査

様式	確認項目	確認内容	確認結果	備考
提出書	■提出者の住所、氏名 ■事業所の概要（事業所の名称、所在地）	氏名、住所、名称等を正確に記載している。 代表者印を捺印している。	☐ 済 ☐ 未	変更がある場合、受付の際に申し出てください。
	■連絡先	都からの問い合わせ先、通知先となる担当部署、担当者、電話番号、住所等を記入している。 《重要》 ⇒担当者名の記載が必要（複数名可）。	☐ 済 ☐ 未	ここに記載された連絡先に都から通知します。
その1	■地球温暖化対策事業者等の氏名等 ■事業所の名称、所在地 ■事業の業種 ■主たる用途	氏名、住所、名称等を正確に記載している。	☐ 済 ☐ 未	提出書記載の提出者名を記入して下さい。公表の対象となるので、提出者が代表者でない場合は、役職名までを記入し、個人名を記入しないで結構です。
	■事業の概要	事業所における主たる事業を記入している。	☐ 済 ☐ 未	
	■敷地面積、建物の延べ面積	平成21年度末の面積を記入している。	☐ 済 ☐ 未	
	■計画及び公表の担当部署	部課の名称・電話番号等を記入している。 《check》 ⇒個人名の記載は不要。	☐ 済 ☐ 未	電話番号は半角で記入してください。FAX、mailは任意記入です。個人のmailアドレスは避けてください。

様式	確認項目	確認内容	確認結果	備考
その2	■結果報告書の公表期間	開始日には、提出日以降の日付を記入している。終了日には、平成22年12月31日以降の日付を記入している。	☐ 済☐ 未 《修正内容》 ☐ 修正済	日付で入力。
	■結果報告書の公表方法	ホームページ、窓口で閲覧、冊子及びその他のいずれかをチェックし、具体的な方法を記入している。		必ず、いずれかの方法で公表してください。
	■計画期間	計画開始年度を元号で入力している。	☐ 済☐ 未	
	■温室効果ガスの総排出量の状況	(自動計算)		
	■工場・事業場の設備等に係る前年度の温室効果ガスの排出の量			
	■工場・事業場の設備等に係る基準排出量及び平成21年度までの温室効果ガスの排出の量の推移	計画書(その4)に記載されている基準排出量及びこれまで提出した排出状況報告書等に記載した平成21年度提出分までの排出量を入力している。 前年度の排出量が増減した要因を検証している。 《重要》 基準排出量と比較して平成21年度の排出量が増減した理由を添その1(ウ 温室効果ガスの増減に影響を及ぼす要因分析)に記入してください。	☐ 済☐ 未	排出量が増減した要因が明確でない場合、温室効果ガスの排出量の集計間違い、設備の異状・不具合等も考えられます。再度確認してください。
	■対策分類ごとの措置の実施状況(実施の有無)	基本対策、目標対策の進ちょく状況についていづれかを選択している。	☐ 済☐ 未	(その4)の達成状況を参照し、チェックしてください。
	□目標の達成状況	(自動計算)		
	□基準年度中に完了した削減対策のうち、目標対策に相当するものの実施による削減率	計画書(その4)における同項目の数値を記入している。	☐ 非該当(目標対策相当なし) ☐ 済☐ 未	
その3	※自動車等による燃料(ガソリン又は軽油)の使用量が概ね年間4kL以上、又は運輸業に該当する場合には、必ず「5. 自動車等に係る温室効果ガスの排出の状況及び排出抑制に係る措置の実施状況(総括)」を記入してください。		☐ 該当☐ 非該当	非該当の場合でも、必ず進捗状況の「計画なし」にチェックしてください。
	□平成21年度の温室効果ガスの排出の量	(自動計算)		
	□基準排出量及び平成21年度までの温室効果ガスの排出の量の推移	計画書(その8)に記載されている基準排出量及びこれまで提出した排出状況報告書等に記載した平成21年度までの排出量を入力している。	☐ 済☐ 未	該当する場合にのみ記入して下さい。
	■温室効果ガス排出の抑制に係る措置の実施状況	自動車等に係る削減対策の進ちょく状況について、いづれかにチェックしている。	☐ 済☐ 未	非該当の場合でも、必ず「計画なし」にチェックしてください。
	■温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況等についての総括等	《重要》 事業所で創意工夫している様子を外部に対してアピールすることをお勧めします。	☐ 済☐ 未	
その4	■工場・事業場の設備等に係る温室効果ガスの排出の抑制に係る目標の達成状況(個表)	その8の内容が反映されている。 備考欄には、対策の補足説明等を記入している。	☐ 済☐ 未	その4の作成に当たっては、記入要領及びEXCELシートの右枠外の説明をご覧ください。
	□再生可能エネルギーの導入に係る措置	再生可能エネルギーの導入の計画又は実績がある場合に記入している。	☐ 済☐ 未	
その5	□その他の取組	該当する取組等がある場合に記入している。		
	その6	※自動車等によりガソリンと軽油の使用量の合計が概ね年間4kL以上、又は運輸業に該当には、必ず「9. 自動車等に係る温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の進ちょく状況及び目標の達成状況等(個表)」を記入してください。		☐ 該当☐ 非該当
□自動車等に係る温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況及び目標の達成状況		計画又は実績がある場合に記入している。	☐ 済☐ 未	
□自動車等に係るその他の事項		特記する取組等がある場合に記入している。		
その7	□事業所外で実施する措置	事業所外の実施状況がある場合に記入している。	☐ 済☐ 未	
その8	■対策の名称 ■対策のレベル ■スケジュール ■計画時の削減効果見込量	計画書した対策の実施状況を記入している。 《重要》 平成21年度にご提出いただいた排出状況報告書(その4、その5)と全く同じ内容を記入(コピー)してください。原則、この項目については変更できません。ただし、対策の内容を変更する場合、備考欄にその旨を記入し、基本対策については理由書を、目標対策については削減効果見込量の根拠資料を添付してください。	☐ 済☐ 未 《修正内容》 基本対策の変更 ☐ 該当☐ 非該当 備考欄に変更した旨を記入し、理由書を添付 目標対策の変更 ☐ 該当☐ 非該当 備考欄に変更した旨を記入し、	その8作業sheet(状況報告書その4用、その5用)を使って、排出状況報告書の内容を転記すると効率よく入力できます。詳しくは記入要領をご覧ください。
	■平成21年度末における実施状況 □延期の理由及び今後の実施予定時期又は取りやめの理由 □添付書類【基本対策の「延期」または「取りやめ」、基本対策の内容を変更する場合の理由書】	平成21年度末における実施状況を記入している。また、「延期」または「取りやめ」が生じた場合、その理由等を記入している。 《重要》 運用対策の「延期」または「取りやめ」、設備導入等対策を「取りやめ」した場合(対策内容を変更するための「取りやめ」も含む)、必ず理由書を添付してください。	☐ 済☐ 未 理由書の添付について ☐ 該当☐ 非該当	「取りやめ」、「延期」の理由書を都が適当と認めなければ「B」以下の評価となります。
	■推計実績削減量 □添付書類【目標対策に係る推計実績削減量の根拠資料】	平成21年度末(平成22年3月31日)において完了している対策(実施途中も含む)による削減効果(CO2換算)を記入している。 《重要》 目標対策に係る推計実績削減量を計上する場合	☐ 済☐ 未 推計実績削減量の根拠資料の添付について ☐ 該当☐ 非該当	その2で基準排出量を記入すると推計実績削減率が自動的に表記されます。

注:「確認項目」欄の凡例 ■:すべての事業者が確認する。□:当該項目の記入を要する事業者が確認する。

様式	確認項目	確認内容	確認結果	備考
その9	■地球温暖化の対策の推進に関する基本方針 ■地球温暖化の対策の推進体制	平成21年度末時点における基本方針及び推進体制を記入している。	☐ 済 ☐ 未 ☐ 別紙あり	所定の欄に記入しきれない場合には、別紙（電子データ）を添付してください。
その10	■統括マネージャーの氏名、部署名、連絡先	平成21年度末時点で記入している。	☐ 済 ☐ 未	人事異動等にあった場合、後任を選出してください。
	■講習会修了者番号 ■受講日	管理者講習会修了証と整合し、8桁の数字を記入している。 《よくある間違い》 ⇒「第○○○○○○○○号」ではなく、「○○○○○○○○」の数字のみを半角入力	《修正内容》 ☐ 修正済	統括マネージャは必須。 平成21年度時点の統括マネージャーについて、お示しください。
	□テクニカルアドバイザーの選任方法	選任している場合、内部で選任、又は外部委託のいずれかを選択している。	☐ 選任 ☐ 未選任	テクニカルアドバイザーの選任は努力義務。
	□氏名、部署名、連絡先	平成21年度末時点で記入している。	☐ 済 ☐ 未	電話、ファックスは必須。
	□資格要件の名称、取得年月日	「1級建築士」「技術士」「エネルギー管理士」「建築設備士」のいずれかを記載している。	《修正内容》	「技術士」は部門名称、「エネルギー管理員」の選任は不可。
	□講習会修了者番号、受講日	管理者講習会修了証と整合し、8桁の数字を記入している。 《よくある間違い》 ⇒「第○○○○○○○○号」ではなく、「○○○○○○○○」の数字のみを半角入力	《修正内容》 ☐ 修正済	
	□都登録番号、登録日	「EB-（○○○○○○）」を入力。登録事業者固有の番号（○○○○○○）である。	☐ 済 ☐ 未 ☐ 修正済	テクニカルアドバイザーが外部であって、都の登録を受けている場合のみ入力。
その11	□テナント事業者等の名称、推進員等の氏名、部署名、連絡先 （その12）も共通	平成21年度末時点で記入している。	☐ 済 ☐ 未 《修正内容》 ☐ 修正済	（その1）に記載した事業者は、必ず入力すること。
	■温室効果ガス排出量集計結果（平成21年度分） ■燃料、熱及び電気の使用実績（月別）（平成21年度分）	結果報告書E X C E Lの添付資料に前年度分を記入している。	☐ 済 ☐ 未	
	■点検表 □削減量の根拠資料 □テナント事業者等における削減対策に係る資料 □その他	別紙（ ）欄に添付書類の番号を記入している。	☐ 済 ☐ 未 《修正内容》 ☐ 修正済	
添その1	■事業所の規模（従業員数、年間来客数）	平成21年度末時点で記入している。	☐ 済 ☐ 未	
	□主な製造製品等（主な製品名、生産量）	エネルギーの使用量に密接に関係する製品等の生産量を記入している。（産業部門が対象）	《修正内容》	
	□建物の稼働状況等（稼働時間）	工場の稼働時間（稼働日）を記入している。 ※例. 16（240日）時間		
	□テナントビルの場合（空室率、貸出面積）	平成21年度末時点の状況を記入している。		
	□データセンターがある場合（面積、電気使用量）	データセンター（電算センター）として使用している床面積の合計を記入している。	☐ 修正済	
	■温室効果ガスの増減に影響を及ぼす要因分析	平成21年度の排出量が、基準年度及び平成20年度と比較して著しく増減があった場合、事業活動の変動や設備の異状等、その要因を分析している。	☐ 済 ☐ 未	
添その2	※自動車等による燃料（ガソリン又は軽油）の使用量が概ね年間4kL以上、又は運輸業に該当する場合には、添その2を記入してください。		☐ 該当 ☐ 非該当 ↓	航空事業者、鉄道事業者、海運事業者は作成が必要です。
	□自動車等による事業活動（平成21年度） ・自動車、航空機、鉄道、船舶	平成21年度の状況を記入している。	☐ 済 ☐ 未	
添その3	■温室効果ガス排出量集計結果	（自動計算）		

注:「確認項目」欄の凡例 ■:すべての事業者が確認する。□:当該項目の記入を要する事業者が確認する。

(次頁へ)

様式	確認項目	確認内容	確認結果	備考
添その4-1	■工場・事業場における二酸化炭素の排出に係る燃料、熱及び電気の使用量	平成21年度の電気、燃料及び熱の種類ごとに使用量の実績を正確に記入している。 《重要》 特に有効桁数の少ないものは、分かる範囲で小数点以下も記入してください。	☐ 済 ☐ 未 ☐ 修正済	電気及び都市ガス（13A：45,0MJ／m ³ ）、蒸気等熱の使用量は、添その4-3（月別使用量）を入力すると値が表示されます。 都市ガス（13A）の単位は「千m ³ 」ですが、添付4-3は「m ³ 」なので間違いに注意して下さい。
	■水道等の使用量	（自動計算）		
添その4-2	■工場・事業場におけるその他の活動による温室効果ガスの排出量 □自動車等による温室効果ガスの排出量 ■温室効果ガスの排出量の合計	（自動計算）		
添その4-3	■電気の使用量	計画書と同様の分類で、平成21年度の電気の月別使用量実績を正確に記入している。	☐ 済 ☐ 未 ☐ 修正済	自動検針の場合は、電力会社から、30分単位のデマンドデータを入力すると実績が把握できます。
	■燃料及び熱の使用量	都市ガス（13A）、A重油等の月別使用量について、前年度の実績を単位に注意して正確に記入している。		「kL（キロリットル）」と「L（リットル）」の違いが多いので注意して下さい。
	□その他の燃料等の使用量	熱供給等の月別使用量について、平成21年度の実績を単位（GJ）に注意して正確に記入している。		蒸気使用量の間違えが多いので注意してください。
	■水道等の使用量	上水道（工業用水も含む。）及び公共下水道への排水について、平成21年度の月別使用量の実績を単位（m3）に注意して正確に記入している。なお、隔月の場合は、2ヶ月まとめた使用量を記入している。	☐ 済 ☐ 未 ☐ 修正済	井戸水、雨水、事業所内で作る中水及び下水再生水の利用は上水から除きます。その他の他者から受け入れている用水はすべて上水に含めて記入する。
添その4-4	※CO ₂ 換算で年間10t以上の場合には、必ず添その4-4を記入してください。	☐ 該当 ☐ 非該当	☐ 済 ☐ 未 ☐ 修正済	
	□工場・事業場におけるその他の活動による温室効果ガスの排出量	平成21年度の実績を正確に記入している。		
添その4-5	※自動車等による燃料（ガソリン又は軽油）の使用量が概ね年間4kL以上、又は運輸業に該当する場合には、必ず添その4-5を記入してください。	☐ 該当 ☐ 非該当	☐ 済 ☐ 未 ☐ 修正済	添その2に合わせてください。 イ）電気の使用量は、電気自動車の使用に伴う電気使用量です。
	□自動車等の活動による温室効果ガスの排出の内訳	平成21年度の実績を正確に記入している。		
添その4-6	※自動車等による走行（ガソリン又は軽油）距離が概ね年間100万km以上、又は運輸業に該当する場合には、必ず添その4-6を記入してください。	☐ 該当 ☐ 非該当		
	□自動車等の活動によるその他の温室効果ガスの排出	平成21年度の実績を正確に記入している。		

注:「確認項目」欄の凡例 ■:すべての事業者が確認する。□:当該項目の記入を要する事業者が確認する。

※1【都からの連絡事項】

次の事項について審査の結果、後日、問い合わせることがあります。

①

☐ 基本対策の実施状況が確認できない場合（結果報告書がB評価以下となる可能性あり）

②

☐ 基本対策の「取りやめ」の理由及び対策の内容変更が妥当と認められない場合

③

☐ 削減量の根拠資料について

※2【結果報告書全般 連絡事項】

※印の欄には、記入しないこと。

※指摘事項については、早めの対応をお願いします。